

✦ 公益財団法人結核予防会 複十字病院

あわせて受ける

肺がんCT・COPD検診

肺2大疾患 同時検診

呼吸器専門医による検診だから安心
早期発見から治療まで、一貫して複十字病院で行います！

肺がん

肺がんの死亡率は、がんによるものの中で第1位です。
早期発見、早期治療が最も重要！

COPD

COPDとは、喫煙により肺が壊されて呼吸が苦しくなる病気です。
重症化すると、常に酸素吸入が必要になり、治癒することはありません。

この2つの疾患が1度に検査できます！

所要時間 約 **30分**
費用 **7,000円(税込)**

お申し込み・お問い合わせは

✦ 複十字病院 健康管理センター

042-491-4712

(平日 9:00 ~ 17:00)

肺2大疾患同時検診

肺がん CT 検診と COPD 検診を一度に行います

一少しでも喫煙歴のある人は要注意です 肺 2 大疾患同時検診を受けましょう

1. 肺がん CT 検診

我が国の肺がんによる死亡数は、毎年7万人を超え、大腸がん、乳がん、前立腺がんの合計数を上回っています。全がん死の20%を占め、男性では、がん死の第1位です。

昭和50年代の喫煙率が70%(男性)を超えていた世代の方、そして現在も2万人を超える喫煙者の方の多くが、今後、肺がん罹患する高危険群です。

重要なことはタバコをやめること、そして定期的な検診を受けることです。肺がんの5年生存率は30%ですが、早期(I期)に見つけることが出来れば77%以上に改善されます。

大切なことは治せる時期にある肺がんを、治せる大きさで見つけ出すことです。

肺がん CT 検診はそれが可能です。



※写真左は進行した肺がんの例です。同右は CT 検診で発見された早期肺がんの例です。CT 検診では右のような淡く小さな早期の肺がんを見つけ出すことができます。肺がん CT 検診はどなたでも受けることができます。特に咳、痰などが続く方、家族にがん歴のある方、喫煙者の方(又は同居者が喫煙者)、40歳以上の方におすすめします。

当院の CT 検診は、通常の 1/10~1/20 の低い被ばく量で検査が行われます。

2. COPD(慢性閉塞性肺疾患) 検診

COPDは、喫煙により、肺に慢性的な炎症が起きて、気道が狭くなったり、肺胞の壁が破壊されたりする病気です。代表的な症状は「息切れ」「咳」「痰」。肺の機能が、次第に低下して駅の階段を上するのも苦しくなり、重症化すると自宅での酸素吸入を余儀なくされてしまいます。世界保健機構(WHO)によれば2020年にはCOPDは世界の死因の第3位になるとされています。

COPDを根本的に治し、もとの健康的な肺に戻す治療法はありません。しかし、少しでも早い段階で病気に気づき、適切な治療を開始することで、健康状態の悪化と日常生活の障害を防ぐことができます。

COPDの症状は、ありふれた症状であるため見過ごしてしまいがちで、COPD発見の遅れにつながります。軽症の段階での早期発見することが大切です。喫煙者の18%がCOPDを患い、また肺がんの約50%がCOPDを合併しています。

下記の項目に該当する方は、COPD検診で早期に発見しましょう。

- タバコを吸っている方(過去の喫煙も含みます)
- 同居者が喫煙者の方
- 労作時、階段の上り下り、歩行時などに息切れがする
- 天候により咳がひどくなる、朝起きて痰がよくからむ